

ハエが発生する季節  
になりました！



家畜保健衛生所たより  
(平成23年度 第5号)



山梨県西部家畜保健衛生所  
平成23年6月22日



## ハエの防除対策をしましょう！

- ◆ハエは、伝染病を媒介する他、家畜のストレスを増大させ、生産性を著しく低下させます。また、ハエの発生は、付近の住民の皆様にご不快感を与え、迷惑を掛けることにもなります。
- ◆農場がハエの発生源とならないために、駆除効果の高い方法で消毒を実施しましょう。

### 【ハエの発生源】

ハエは湿ったところにしか卵を産まないため、畜舎周辺の水たまりや湿地は埋め立てましょう。また、除糞はこまめに行い、糞の堆積場は雨水に濡れないよう覆いをかけましょう。

### 【ハエの駆除方法】

#### 1. 幼虫対策

**幼虫対策は、ハエ対策の基本です（少量の薬剤で経済的かつ効果的に駆除ができます）。**

成虫対策用殺虫剤（有機リン剤・ピレスロイド剤等）や昆虫発育抑制剤（IGR剤）を使用します。

#### <昆虫発育抑制剤>

- ・キチン質合成阻害剤（脱皮を阻害する）：デミリン水和剤等
- ・キューティクル硬化剤（脱皮を阻害する）：ラモスSG等
- ・幼若ホルモン物質（蛹化を妨げる）：ネポレックスSG2等



## 2. 成虫対策

成虫対策としては、いくつかの方法があります。

### ○ハエ捕り紙

### ○毒餌

- ・ 砂糖やミルク、その他ハエの好む物と殺虫剤を混ぜ、ハエに飲み込ませて使用します。  
(子供、家畜、ペットに接触させないよう注意が必要です。)

### ○空間散布

- ・ 成虫対策用殺虫剤(有機リン剤・ピレスロイド剤等)を散布します。

### ○残留噴霧

- ・ 残留効果が期待できる薬剤をハエが夜間に休む壁や天井に散布します。

### 【殺虫剤の上手な使い方】

1. 成虫対策より発生源対策や幼虫対策を重点的に行いましょう。
2. 幼虫対策は、成虫が目立つ時期より1~1.5ヶ月前から始めましょう。
3. 同じ薬剤を長期間使用しないようにしましょう。(抵抗性を獲得してしまうため)
4. 使用説明書に従い正しく使いましょう。
5. 散布は曇天の日や夜間を選び、窓を閉め切って集中して行いましょう。

